



週刊

新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊63周年 電話3369-6195 FAX3369-0759 (昭和32年12月4日第3種郵便物認可)

主なニュース

- ②面 東京1区・立憲躍進、海江田が雪辱果たす
- ③面 東京10区・希望・若狭が3位と惨敗!
- ④面 秋の火災予防週間(11月9日~15日)
- ⑤面 地域経済を活性化する「四谷法人会」
- ⑥面 韓国レーザー・近藤宣之(代表)に聞く



歓喜のガッツポーズを決める海江田氏

10月22日投票の衆院選。名門・東京1区では立憲民主・海江田氏と自民・山田氏が共に9万票台半ばの熾烈な争いを繰り広げ、海江田氏が3,000票差の僅差で山田氏を下した。敗れた山田氏も比例で復活当選を果たした。一方、*小池新党。の希望の党は奮わず、松沢香氏は4万票の得票にとどまった。

海江田3,000票差で勝利

自民・山田氏と接戦を繰り広げた立憲民主の海江田万里氏に、当選の報道がなされたのは午前0時頃。四谷の選挙事務所には海江田氏が現れる。立憲民主として臨んだと支援者から大きな拍手が沸いた。その後の万歳三唱では深くお辞儀をし、涙を流すことにはなかつた。

衆院選 東京一区

海江田 万里	9万6255票
(立憲民主)	
山田 美樹	9万3234票
(自民)	
松沢 香	4万0376票
(希望の党)	
原口実季 (諸派)	3806票
犬丸光加 (諸派)	1570票
又吉光雄 (諸派)	1307票

た意味は大きい。海江田氏は「選挙が初めて海江田氏の後援を押し3千票差で敗れた。勝敗が決した直後の事務報告会では選対本部名を「選挙戦の前から心配を果たすま

山田氏は比例で当選

自民党の山田美樹氏は、比例で3期目の当選を果たした。山田氏は「多くの心をお話しなかつた」と挨拶し、(故郷の)の分も仕事をしたいと述べた。



比例で当選した山田氏は3期目の検見を語った

伸び悩んだ。自民の新宿区議からは「区割りが変わり格差地区が10区に編入されたことや、共産党が海江田氏を支援した影響」を指摘する声がかかった。

その後、比例での復活当選が決まり、翌22日の報告会には前夜の倍の80名超の支持者が事務所集まった。関係者の挨拶では「比例で次点となり当選が叶わなかつた」と謝罪し、(故郷の)の分も仕事をしたいと述べた。

2面へ続く

訪日客割合は最大。新宿駅東口の目の前にあるスポーツアパレル・アディダスの旗艦店「コア」が10月6日オープンした。訪日客割合は最大。新宿駅東口の目の前にあるスポーツアパレル・アディダスの旗艦店「コア」が10月6日オープンした。

訪日客で大賑い!

新たなファッション店、次々と



ジョイントワークスの店内

新宿駅東口のメインストリート・新宿大通りは路面部分に「空き」はなく新たなファッション店の出店は周辺エリアへ広がりをみせている。大通りから一步入った双葉通りでは今秋、ファッション店が相次ぎ出店した。

新宿駅東口

訪日客が「3割」にも

ジョイントワークス 性別・価格・混在の新業態店

新宿駅東口(完備面積約400平方メートル)に9月30日オープンしたのが、ジョイントワークス。上層は男女別、下層は男女混合のファッションショップ「ジョイントワークス」だ。「新宿の新しい」というニーズがある。この時期は三越アルコットのフロア分けは、このジョイントワークス隣の市町第三ビル2階「オーダーズ」専門店の「GINZA A クローバル」。

銀座・池袋に次ぐ広さ

オーダーズ専門店が出店



「より利便性が高く広」双葉通りはファストファッションのザラがある

訪日客割合は最大。新宿駅東口の目の前にあるスポーツアパレル・アディダスの旗艦店「コア」が10月6日オープンした。訪日客割合は最大。新宿駅東口の目の前にあるスポーツアパレル・アディダスの旗艦店「コア」が10月6日オープンした。

秒読み

▼自民の支持率は35%なのに議席は60%を占めた。これが今回の選挙の、自民の勝利の要因だ。つまり、2倍で勝つ。つまり、以上の支持率がない限り、議席は過半数をとれない。今回のように、3倍で争えば、約3分の1の支持率で、議席の過半数を占めることができる。これが小選挙区制が抱える矛盾だ。民意が正しく反映されたとはいえない。憲法改正だけにテーマを絞ってみても、自民の中にも改正反対派はいる。国民投票で「反対票」が過半数を上回る可能性もある。▼「我々は国会内の数の論理(数合わせ)をめざさない」「直に国民に働きかける。野党連合はあり得ない」。立憲民主の枝野代表の考えだ。つまり政治決断(憲法論議)に縛られないのが「国民投票」なのだ。それで多数を獲得すればいい。▼考えてみれば、我々は政治のイメージで投票しているのではないのか? 「原案」とか「何々の問題」では反対だが、他の経済政策などを良しとするから、全体として「自民」に投票する。そういう投票心理が働く。▼あらゆる政策を揃えた。百貨店の大手に反対し、単発の課題を掲げた。専門店が「推新」希望。立憲民主などの野党なのだ。では政党とは何なのだろうか? 有権者の選んたものを信じていいのだ。